

## 災 岡山県鏡野町へ職員を派遣 害復旧を支援

町では、平成30年7月の豪雨被害により多大な被害を受けた、当町の友好町村である岡山県鏡野町の災害復旧を支援するため、2名の職員を派遣しました。約半年間、数名の職員を交代で派遣する予定です。

10月19日(金)には出発式が行われ、10月22日(月)には第1回目の派遣者として都市建設課の関根達也副課長と上下水道課の保田広隆主任主査が鏡野町に向けて出発しました。



派遣された関根副課長(中央左)と保田主任主査(中央右)



通常点検を行う統監の遠藤町長

## 町 消防団秋季検閲式 民の安全・安心のため

10月21日(日)、鳥見山多目的広場で平成30年度町消防団秋季検閲式が行われ、団員など約120名が参加しました。開式にあたり統監の遠藤町長より「自分たちの地域は自分たちで守るという郷土愛護の精神に基づき、町民の生命と財産を災害から守るため活躍してほしい」と訓示がありました。

通常点検、機械器具点検、中隊訓練及び分列行進が行われ、団員は練習の成果を披露しました。また、長年消防団員として尽力し功績のあった団員への表彰も行われました。



①



③



④

①よさこい演舞。幼稚園・保育所、鏡踊爛會による総踊り ②中学生も神輿で盛り上げました ③迫力ある御神輿渡御 ④ゲームでスタンプを集めるチャレンジスタンプラリー

## 親 鏡石保育所運動会 子で楽しく♪

9月29日(土)鳥見山体育館で鏡石保育所の運動会が開催され、園児と保護者約400人が参加しました。

運動会は今年で50回目を迎え、記念のくす玉割りが行われたほか、かけっこや親子でおつかい、どうぶつなあに?、落としちゃだめよ!、どっちがおおいかな?、ダンシング玉入れ、紅白リレーなど、18種目を行い、子どもたちは元気な姿を保護者の皆さんに披露していました。また、親子でふれあいながら行う種目も多く、親子で一緒に楽しんでいました。



親子でなかよく「おべんとうパス」

## 日 岩農生がオランダ訪問を報告 本との違いを実感

10月15日(月)岩瀬農業高校の生徒4名と校長先生、担当の先生が町長室を訪れ、交流事業でのオランダ訪問からの帰国を報告しました。(オランダには1・2年生11名が訪問)

訪問した生徒は「原発事故の風評被害が根強く残っていることに驚きとショックを受けましたが、ジャムなどの試食をおいしいと食べてもらったのが嬉しかったです。農業関連の施設が発達し、産業が農業を中心に回っているなど、技術面・意識面での差を感じました」と学んだことを報告しました。



遠藤町長にオランダの木靴などのお土産を手渡しました

## 地 人権擁護委員委嘱状等伝達式 地域のリーダーとして

10月19日(金)町長室で上記伝達式が行われ、退任される高島民子さん(本町)には感謝状が、後任の岡部ちよ子(鏡沼)さんには委嘱状が福島地方方法務局鈴木郡山支局長に代わり、稲川延康民事専門官から伝達されました。岡部さんの任期は、平成30年10月1日から3年間です。

遠藤町長から「高島さんには多様な人権問題に取り組んでいただき感謝しています。岡部さんには人権思想の普及啓発にご活躍いただきたい」と挨拶がありました。



退任された高島さん(中央左)と後任の岡部さん(中央右)



ボードを手に呼びかけを行う母の会会員の皆さん

## 早 交通安全母の会が啓発活動 めのライト点灯を

10月10日(木)交通安全母の会(添田喜美代会長)は、県下一斉交通安全街頭活動に合わせ、役場前交差点でドライバーに対し「早めライト点灯」のボードを掲げ、交通安全を呼びかけました。

この活動は、日没時間が早まり交通事故が増加するこの時季に、広く県民に交通安全意識の普及と交通安全母の会の活動の浸透を図ることを目的に、県内の交通安全母の会が一斉に街頭啓発活動を実施するものです。